

医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第24号

(H27/6/3)



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

6月に入りましたね。5月半ばから天気の良い暑い日が続きましたが、もうすぐ梅雨入りでしょうか？

梅雨入りとは？『梅雨入りの日というのは、平均5日間の「移り変わり」の期間と言うものを気象庁が判断しています。その中日を梅雨入りの日としています。』らしいです。昨年は、平均的な梅雨時期だった関西・近畿地方。梅雨入り（6/3）も梅雨明け（7/20）も例年に比べてさほど変化がなく雨量は例年の半分程度だったようです。

梅雨の間は通勤時の不快さだけでなく、洗濯物の心配をしなくてはならず、普段以上に天気予報を見る回数が増えますね。



第36回ワーキング会議(5/28)

ひこね爆ばれす



医療福祉の現状を、漫画やDVD、テレビドラマなど「ビジュアルで伝える」場合、どのような内容が考えられますか。どこで広報するといいいですか。

- ・ニュースで取り上げてもらうと費用がかからず効果的
- ・県民から描く人を募り今までの劇を漫画化しては？（冊子程度）
- ・マンガは年代によって読む、読まないがありそう。
- ・在宅療養に携わる人がユニフォームを着てみとりちゃん（キャラクター）とPRする。
- ・びわ湖放送の赤ちゃん紹介のように旅立たれた方のいい顔の写真をのせる。
- ・広報誌や図書館で広報する。 ・Facebookを活用。
- ・若い世代はホームページを見る。
- ・みとりちゃんのきぐるみが県内を巡回する。
- ・永源寺の取り組みをメインに「滋賀は在宅」県としてPRする。
- ・自分の健康を意識する検診の機会と合わせて「自分の最期をどうしたいですか」と問いかける。
- ・シニア世代+古民家活用の若者⇒コラボできないか？



注意点として

ターゲットを決める必要があるのでは？

地域の特性に配慮が必要。

既に市町で作ったものがあるかまず情報を集める。



在宅療養を行おうとする患者や家族の不安を解消するために、紙（リーフレット）で伝えるには、どのような内容があるといいいですか？

- ・「看取り」という言葉に実感がわからないのなら別の表現をしてみる。
- ・（通院できなくなったら）（治療が難しくなったら）（最期をどうするか）と段階を追って考えていけるようにするといいい。
- ・エピソードごとに分けて考える。
- ・家族内での会話のきっかけになるようなものがいいい。
- ・家族の不安〈家で状態が悪くなったら？〉本人の不安〈住んでいる地域ではどこに行ったらいいのか？誰が支えてくれるのか？〉〈見てくれる医師はいいいのか？〉に対するQ&Aをリーフレットで伝える。
- ・活字よりイラストの方が頭に入りやすい。
- ・相談はまず地域包括支援センターに行けばいいと周知する。
- ・よい看取りよい最期のケースをのせる。
- ・フローチャート式に描く。



今年度2回目のワーキンググループ会議は2年ぶりの彦根での開催でした。

会員の方が前もってお声掛けいただいたおかげで、初参加9名含む38名の方々の活気あふれる意見交換となりました。彦根の方々の人柄やパワーを感じられる有意義な時間となりました。



★次第★

☆あいさつ・報告・連絡事項

☆「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」27年度の予定について

＊総会（8月29日（土）開催）や県民フォーラム（11月29日（日）開催）など27年度の予定をお知らせしました。

☆意見交換・グループワーク

「地域創造会議で行う県民啓発・情報提供のあり方について part2」

前回（4/23）のワーキングに引き続き、27年度の広報啓発について意見交換を行いました。

☆その他



次回ワーキンググループ会議のご案内！

次回の会議の開催は、
6月23日（火）18:30～20:00
（南草津フェリエ5F）です。

会員の方には、後日メールで出欠のご確認をさせていただきます。

初めて参加をご希望される方は、開催日前日までに、事務局までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

今年度ワーキング会議開催予定

今後の開催予定日をお知らせいたします。

7月23日（木）滋賀県庁

9月15日（火）G-NETしが



県民フォーラム（11/29）

講師 秋川リサ さん

に決定！



ご意見・ご感想等お寄せください。

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局
（滋賀県庁 医療福祉推進課内） 笹山・橋本

TEL:077-528-3581 FAX:077-528-4851

E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

